

四季の風だより

梅雨号 平成 24 年 6 月 15 日
田中せいこ社会保険労務士事務所

♪あめあめふれふれ・さんがあ
じゃのめでお・えうれしいなあ♪
皆さん、うっとうしい梅雨の季節となりましたが、いかがお過ごしですか？

実は私、梅雨って大好きなんです。何故かと言いますと、私の父が土木の仕事をしていましたので、雨の日は家にいることが多かったんです。

まだ私が幼い頃、父が雨で家にいて、父の膝の上で一緒にテレビを見たり、お菓子をふざけて取り合ったり・・・私は幸せ過ぎて息苦しくなって、雨の中傘をさして家の周りを一周して、また父の膝に入り込んだりしていました。

そんな思い出があるせいか、雨の日は心が癒される気がするんですね。

今年はまだ、父の 17 回忌です。父の事考えていたら、不思議なオルゴールのことを思い出しました。

∞不思議なオルゴール∞

今から 6 年くらい前の事です。私は 14 年間経営していた建築の下請施工会社をやめる決心をしました。自分で起業し、一から営業し、築いてきた会社をやめるのは、身を引き裂かれるような辛さがありました。

自分が負け犬になったような情けなさとお世話になった方々への申し訳なさで、部屋で一人で号泣していました。いくら抑えようと思っても抑えきれない悲鳴のような泣き声でした。

しばらく泣いていると、ゼンマイが巻き戻って、鳴らないはずのオルゴールが、突

今月の話題

- 不思議なオルゴール
- 三河が大好き
- 婦人会会長になって反省ばかり

然鳴り出したのです。

そのオルゴールの横には、亡くなった父の写真が立てかけてありました。

「お父さんが来てくれている」私は自然にそう思いました。今でも、あの時父が来てくれたんだと思っています。



これがそのオルゴールです。その時蓋はずっと開きっぱなしで、ゼンマイも随分前から巻き戻っていたので、突然鳴り出した時は、さすがに私も泣きやみました。

ちょっと、不思議ですよ。

♥三河が大好き♥

私は秋田県の北部、森吉山の麓で生まれました。両親とも代々秋田生まれで、私の体の中には、100%秋田県人の血が流れています。

1 歳の時に神奈川県に引っ越し、それからずっと結婚するまで神奈川県に住んでいました。途中一人暮らしがしたくて、東京の世田谷にアパートを借りたりもしました。愛知県に住んで、早いものでもう 28 年になります。

お嫁に来た当初は、近所にレンタルビデオ店やコンビニも無く、夜は真っ暗。友達や知り合いは一人もいないし、夫のお祖母

さんと父親と弟が同居で、5 人家族の炊事と洗濯をする毎日に、実家に帰りたくて、泣かない日は一日も無かったです。

でも今は、何処よりも三河が大好きです。東京にも大阪にも日帰りで行けるし、産業は発達していて、気候は温暖。適度に田舎で、山も川も海も湖もすぐ行けます。

でも、一番の理由は、この土地で沢山の素晴らしい人たちと出逢えたからでしょう。



地元豊川市の赤塚山公園の菖蒲園です。この美しい景観を一人占めです。本当の豊かさが、田舎にはありますね。では一句。

一迅の 風に揺るがず 花菖蒲

おそまつさまでした。

婦人会会長になって反省ばかり

今年は町内の婦人会の会長になってしまいました。これは順番みたいなものなので決まったからには、お受けしなければなりません。

最近では、婦人会活動は一般的に下火のようで、私の町内でも年に 3 回の公民館の掃除と、年に 2 回の戦没者の墓参りがあるくらいです。

昨年、バス旅行もやめることになったので、今年はディナーショーを企画したらどうかと提案しました。生のバンド演奏を、皆で聴けたら、さぞかし楽しい思い出になると思ったのです。

特に反対も無かったので、私は意気揚々

と企画を進めました。もし大勢集まり過ぎて、送迎バスに乗りきれなかったらどうしようなんて、そんな心配さえしていました。

ところが、いざ回覧板を回してみると、私の班には、参加者が一人もいないのです。他の班は 2, 3 人です。合計で 16 人しか参加者が集まりません。最低 20 人集まらないと、ディナーショーは開催できません。

企画を立てた、私の班がゼロということは、日頃の私の行動に問題があるのではないかと、ものすごくショックを受けました。

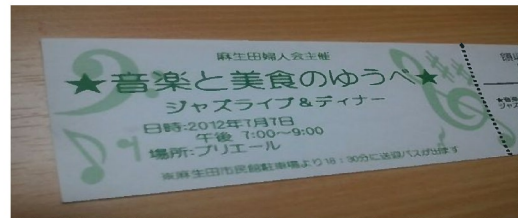
企画したこと自体、皆に迷惑だったのではないかと、寝込みそうなくらい落ち込みました。

最低遂行人数に達しない以上、諦めるべきとも思いましたが、一生後悔しそうだったので、隣村の友達に相談しました。今回の企画は、家族や友人の参加も OK だったので、何とか 20 人集めたかったのです。

隣村の友人は、嬉しそうに参加してくれて、しかも更に 3 人の友人を誘ってくれました。

そんなわけで、ぎりぎり 20 人集めることができたのですが、日頃忙しさにかまけて、町内の付き合いを疎かにしていたことを身に沁みて反省し、快く参加してくれる隣村の友人に、心から感謝しました。

そしてこれからは、町内活動にもっと協力しようと、心に誓いました。



早速、ディナーショーのチケットを作成し、夜もよく眠れるようになりました。

それでは、最後までお読みいただき、ありがとうございました。(^-^*)